

委員会の主な活動状況

〔12/4～1/10〕

総務委員会

「沖縄県議会・那覇市議会・名護市議会の『米軍普天間基地移設の日米共同発表の見直しを求める意見書』を支持し、日本政府への意見書提出等を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(12/7)

「『発生抑制と再使用』を促進するため容器包装リサイクル法の改正等を求める意見書』の採択を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(12/9)

財政市民委員会

路面電車について、参考人として、北海道大学大学院経済学研究科教授の吉見宏氏を招き、意見を聞いて、質疑を行いました。(12/7)

文教委員会

「札幌市の保育予算の大幅増額と現行保育制度の堅持・拡充を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(12/7) 「子どもの権利に関する推進計画」素案について、子ども未来局から説明を受け、質疑を行いました。(12/9)

厚生委員会

子宮頸がん予防ワクチンに関する陳情4件の審査を行い、2件を採択すべきものと決定し、他2件を不採択とすべきものと決定しました。(12/7)

「市民評価(事業仕分け)結果に係る、老人クラブ活動費補助金(見直し)に関する陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(12/9)

建設委員会

東部スラッジセンター2号焼却炉の排ガス中のダイオキシンについて、建設局から説明を受け、質疑を行いました。また、東雁来第2土地区画整理事業の計画変更について、都市局から説明を受け、質疑を行いました。(12/7)

札幌駅前通地下歩行空間工事現場(中央区北3西4ほか)を視察しました。(12/9)

経済委員会

乗り継ぎ割引制度の見直しについて、交通局から説明を受け、質疑を行いました。(12/7)

「円山庭球場の利用に関する陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(12/9) 2017年アジア冬季競技大会の開催要請および札幌ドームのネーミングライツ(命名権)について、観光文化局から説明を受け、質疑を行いました。(12/27)

議案審査のための常任委員会

関係する各常任委員会において、それぞれ審査を行いました。(12/7)

平成23年第1回定例会のお知らせ

第1回定例会は、2月10日(木)から3月9日(水)まで開かれ、各会派の代表質問は2月15日(火)から3日間行われる予定です。

若者の就労支援

いとう まきこ
伊藤 まきこ

市民ネット



問 高校・大学の新卒者を就労に結びつける取り組みを拡充すべきです。今後の課題と就労支援事業の継続について、どう考えているのですか。

答 若者が希望する企業や職種には求人少なく、若者の基礎的能力の不足も課題です。今後、ジョブスタートプログラムを拡充し、若者が早期に就職できるような方策も検討したいと考えています。

問 社会人になる前に、学校教育の中で、働くことの意味を考える取り組みを行うべきではないですか。

答 各学校での進路探求学習や、企業および関係機関との連携による社会人講話や職場体験学習を実施しており、今後も充実していきたいと考えています。



可決された議案

平成22年度一般会計補正予算

主に次の内容で総額37億6,600万円を補正するものです。

- ① 高卒未就職者採用企業への支援
- ② 「保育ママ」サービスの開始
- ③ 市有施設での太陽光発電設備設置
- ④ 妊婦一般健康診査の新検査項目追加
- ⑤ 低所得者への新型インフルエンザワクチン接種費用助成
- ⑥ 子宮頸がん予防ワクチンなどの接種費用の無償化

札幌市立学校設置条例の一部を改正する条例

東米里小学校と東米里中学校の廃止に伴い、両校の分校を廃止し、桑園小学校ひまわり分校と陵北中学校ひまわり分校を設置するものです。

このほか、合計30件の議案などが可決されました。

市民生活を守る事業の財源対策

さかもと きょうこ
坂本 恭子

共産党



問 財政調整基金の残高の一部取り崩しや、予算より多く配分された普通交付税と臨時財政対策債の未使用分を、市民生活を守る緊急対策の財源として活用すべきです。また、道路占用料の引き下げを元に戻し、法人市民税の超過課税を他都市並みとすることなどで、財源を作り出すことができます。

市民の暮らしと福祉を最優先にした市政運営に転換すべきであり、財源対策について、どう考えているのですか。

答 厳しい財政状況の中でも、市民生活に関わる課題には、しっかり対応することが肝要です。今後も歳入歳出の両面で工夫を行い、所要の財源を確保して、対策を講じていきたいと考えています。

■編集 札幌市議会事務局
☎211-3164 FAX218-5143
■市議会ホームページアドレス
www.city.sapporo.jp/gikai

市長の決断は適切か

まつうら ただし
松浦 ただし

改革維新の会



問 市長は、中央バスの厚別・白石のバス路線の一部をJRバスに移管しようとして、結局、中央バスに戻しました。市長は、この失敗をどう生かしますか。

答 今後は、時間をかけて市民に情報提供を行い、その上で議論します。

問 北海道観光事業(株)の横領事件当時、非常勤取締役だったNHK出身者を、本市が出資する札幌リゾート開発公社の社長に推薦したのは不適切です。また、北海道観光事業(株)の元社長の退職金を承認した中田副市長などの解任を求めます。

答 中田副市長には既に嚴重注意処分を行いました。また、札幌リゾート開発公社社長の解任は考えていません。